

筑波大学附属病院  
看護師特定行為研修

受講者募集要項

第 16 期生募集用  
(令和 6 年度 4 月期生)

筑波大学附属病院

University of Tsukuba Hospital

## 1. 特定行為研修の目的・目標

本研修の目的は、地域医療及び高度医療の現場において、医療安全を配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を教育し社会に貢献できる有能な看護師を育成します。

### 研修目標

1. 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2. 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
3. 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

## 2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 1) 修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価、一部の科目では実技試験に合格すること。

なお、本研修修了者には、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

## 3. 履修内容の読み替え

専門看護師教育課程、認定看護師教育課程、その他大学院等で既に履修した授業科目や時間数の取り扱い並びに受講時間数については、関連する科目の受講に当たり、当研修の教育内容に相当すると筑波大学附属病院看護師特定行為管理委員会で判断された場合に限り考慮します。

また、平成22年度及び平成23年度特定看護師（仮称）養成調査試行事業における研修並びに平成24年度看護師特定能力養成調査試行事業における研修の受講を修了した者は共通科目の「臨床病態生理学」「フィジカルアセスメント」「臨床薬理学」は履修証明者の提出により筑波大学附属病院看護師特定行為管理委員会で読み替えを決定します。

## 4. 定員

定員数（最大受け入れ人数） 35名

## 5. 研修期間と募集時期

研修期間 1年もしくは1年6ヶ月（選択内容により異なる）

共通科目を修得後に区分別科目\*もしくは領域別パッケージを

受講開始します。 \*複数選択可

なお、在籍期間は、最長2年間とします。

ただし、「外科術後病棟管理領域パッケージ」を選択した場合は最長3年とします。

募集時期 年2回（4月と10月）

領域別パッケージは、年1回（4月）

## 6. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、研修は、講義、演習または実習によって行われます。

- 1) 共通科目（必修科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間：6か月）

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	46 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学／特定行為実践	46 時間
合計時間数	252 時間

\* 共通科目は e-learning を中心とした講義および演習を受講し、筆記試験に合格する必要があります。また、「臨床推論」「フィジカルアセスメント」「医療安全学／特定行為実践」は筆記試験に合格後、実習へ進み観察評価を行います。

2) 区分別科目（選択科目）：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

\*複数選択可能、受講開始後の追加申請も可能

(研修期間：各区分6か月程度)

No	区分別科目：特定行為	時間数
1	<b>呼吸器（気道確保に係るもの）関連</b> ：経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10 時間
2	<b>呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連</b> ：侵襲的陽圧換気の設定の変更、非侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱	30 時間
3	<b>呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連</b> ：気管カニューレの交換	9 時間
4	<b>循環器関連</b> ：一時的ペースメーカーの操作及び管理、一時的ペースペーカーリードの抜去、経皮的心肺補助装置の操作及び管理、大動脈バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	21 時間
6	<b>胸腔ドレーン管理関連</b> ：低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び変更、胸腔ドレーンの抜去	15 時間
7	<b>腹腔ドレーン管理関連</b> ：腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	9 時間
8	<b>ろう孔管理関連</b> ：胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換、膀胱ろうカテーテルの交換	25 時間
9	<b>栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連</b> ：中心静脈カテーテルの抜去	8 時間
10	<b>栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連</b> ：末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	9 時間
11	<b>創傷管理関連</b> ：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法	35 時間
12	<b>創部ドレーン管理関連</b> ：創部ドレーンの抜去	6 時間
13	<b>動脈血液ガス分析関連</b> ：直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保	14 時間
14	<b>透析管理関連</b> ：急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	12 時間
15	<b>栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連</b> ：持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正	17 時間
16	<b>感染に係る薬剤投与関連</b> ：感染兆候がある者に対する薬剤の臨時的投与	30 時間
17	<b>血糖コントロールに係る薬剤投与関連</b> ：インスリンの投与量の調整	17 時間
18	<b>術後疼痛管理関連</b> ：硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	9 時間
19	<b>循環動態に係る薬剤投与関連</b> ：持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整、接続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整、接続点滴中の降圧剤の投与量の調整、接続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整、接続点滴中の利尿剤の投与量の調整	29 時間
20	<b>精神及び神経症状に係る薬剤投与関連</b> ：抗けいれん剤の臨時的投与、抗精神病薬の臨時的投与、抗不安薬の臨時的投与	33 時間

\* 区分別科目は e-learning を中心とした講義を受講し筆記試験に合格後、演習（一部実技試験に合格後）、実習へ進み最終評価として観察評価を実施します。

3) 領域別パッケージ: 領域ごとに対応する複数の特定行為区分に係る研修をパッケージ化

パッケージ名	含まれる区分別科目	時間数	研修期間
在宅・慢性期領域 4 区分 7 行為	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、ろう孔管理関連、創傷管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	86 時間	12 か月
外科術後病棟管理領域 12 区分 22 行為	呼吸器(気道確保に係るもの)関連、呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、胸腔ドレーン管理関連、腹腔ドレーン管理関連、栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連、創部ドレーン管理関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連	165 時間	18 か月
術中麻酔管理領域 6 区分 15 行為	呼吸器(気道確保に係るもの)関連、呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連	109 時間	12 か月
救急領域 5 区分 12 行為	呼吸器(気道確保に係るもの)関連、呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	104 時間	12 か月
外科系基本領域 7 区分 10 行為	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、動脈血ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、感染に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連	119 時間	12 か月
集中治療領域 6 区分 17 行為	呼吸器(気道確保に係るもの)関連、呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、循環器関連、栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、動脈血液ガス分析関連、循環動態に係る薬剤投与関連	115 時間	12 か月

\* 領域別パッケージは e-learning を中心とした講義を受講し筆記試験に合格後、演習（一部実技試験に合格後）、実習へ進み最終評価として観察評価を実施します。

## 7. 受講モデル

共通科目を6か月の期間でe-learningを中心とした講義の受講および演習、実習をします。さらに特定行為の区分別科目は選択科目数(複数選択可)、内容によって6か月から1年の間にe-learningを中心とした講義および演習を受講します。区分別科目毎に筆記試験、実習期間が異なります。半年間に数回の実習期間の設定があるため、勤務との関係で、受講スケジュールの選択が行えます。受講開始後に区分別科目の追加申請も可能です。受講が決定した際には、個別に受講スケジュールの相談に応じます。

## 8. 協力施設について

区分別科目実習は原則所属施設(協力施設)で行います。協力施設とは演習または実習を行う指定研修機関以外をいいます。協力施設には指導者と連携し、研修目標が達成できるように管理する責任者および事務手続きのための事務担当者の配置をお願いします。協力施設と指定研修機関との間で、指導方針の共有や関係者による定期的ない会議を開催します。

責任者と事務担当者にご協力いただき、指定研修機関と協力した安全管理体制などを整備し、指定研修機関指定のための申請書類などの提出を行います。また、責任者の方には、実習場所・実習時間の調整などをお願いします。

## 9. 受講資格

次の各号に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

### 【必須条件】

- 1) 看護師免許を有すること。
- 2) 看護師の免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること。(応募時)
- 3) 原則、所属施設において特定行為の実践・協力が得られ組織長の推薦を有していること。
- 4) 原則、所属施設での臨地実習を行うことができること。

(※協力施設要項及び自施設実習症例確認チェックリストを要確認。)

- 5) 受講する者は自施設での区分実習が可能であること。
- 6) 学業優先で受講可能であること。
- 7) 賠償責任保険にご自身で加入していること。
- 8) 共通科目履修免除については、他指定研修期間等での共通科目の履修を証明するものおよび受講したシラバス・成績証明で研修修了が確認できること。

\*特定区分：血糖コントロールに係る薬剤投与関連は、日本糖尿病療養指導士の資格取得者(または過去に日本糖尿病療養指導士の資格を取得した者)に限ります。

\*他の指定研修機関を修了又は修了見込みで当院に編入を希望される場合は、当院の定員35名の空きの有無について、応募書類を出される前に必ずご確認下さい。(定員を超える場合は、編入することはできません。)

問合せ：Email：[tokutei298-office@umin.ac.jp](mailto:tokutei298-office@umin.ac.jp)

TEL：029(853)3610

## 10. 出願手続き

### 募集要項請求方法

筑波大学附属病院ホームページ「筑波大学附属病院看護師特定行為研修」から必要書類をダウンロードしてください。

**ホームページ** [http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/kango\\_tokutei/](http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/kango_tokutei/)

**出願期間** 令和6年1月5日(金)～令和6年1月24日(水) **当日必着**

※郵便事情等で受取まで時間がかかる場合がありますので、余裕を持って投函願います。

**出願提出書類** ※ 提出された出願書類は返却いたしません。

- 1) 入講願書（別記様式 1）
- 2) 履歴書（別記様式 2-1）
- 3) 職務経歴書（別記様式 2-2）
- 4) 入講志願理由書（別記様式 3）
- 5) 推薦書（別記様式 4-1）※ 原則として所属組織の推薦とします。
- 6) 受講同意書（別記様式 4-2）
- 7) 臨地実習承諾書（別記様式 4-3）※当研修の OSCE 評価者所属施設の方は提出不要です。
- 8) 緊急連絡先届（別記様式 5）
- 9) 看護師免許（写）※A4 サイズで印刷し提出してください。
- 10) 別紙 自施設実習症例確認チェックリスト
- 11) \* 「日本糖尿病療養指導士」認定証（写） \* 該当者のみ

### ●区分別科目のみ受講を希望する者

出願提出書類上記 1) ～10)、11) は該当者のみの他、下記 12) ～14) を提出する

- 12) 特定行為研修修了証（写）
- 13) 特定行為研修において患者に対する実技を行う実習内容に関する証明（写）
- 14) 受講済共通科目のシラバス・成績証明

**出願書類提出方法** ※ 必ず「郵便書留」で送付、又は直接ご持参してください。

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1

筑波大学附属病院 総合臨床教育センター 看護師特定行為研修担当

直接ご持参される場合は、事前にご連絡下さい。TEL：029（853）3610（問合せ窓口）

## 11. 選考方法

書類選考により行います。選考結果については、本人宛て簡易書留速達にて郵送します。

電話や FAX での可否の問合わせには応じられません。

## 12. 受講手続きと納付金（入講納付金及び受講料）について

受講予定者に受講手続きについての詳細をご案内します。なお、受講手続き期間および納付金については以下のとおりです。なお、納付金（消費税込）は、受講手続き終了後、本院から送付します請求書に基づき、振込み願います。

受講手続き期間 令和5年3月6日（水） ～ 令和5年3月18日（月） **必着**

納付金 ①入講料 10,000 円（消費税込）

②共通科目の受講料 一括 450,000 円（消費税込）

③希望する特定行為の受講料（以下の受講料一覧表参照）

### 【区分別科目受講料一覧表】

コース No	区分別科目：特定行為	受講料 (消費税込)
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	38,900 円
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	82,800 円
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	32,200 円
4	循環器関連	94,300 円
6	胸腔ドレーン管理関連	56,500 円
7	腹腔ドレーン管理関連	33,200 円
8	ろう孔管理関連	72,900 円
9	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	43,100 円
10	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈カテーテル管理）関連	75,100 円
11	創傷管理関連	148,500 円
12	創部ドレーン管理関連	29,000 円
13	動脈血液ガス分析関連	57,800 円
14	透析管理関連	40,900 円
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	48,000 円
16	感染に係る薬剤投与関連	58,800 円
17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	45,200 円
18	術後疼痛管理関連	38,200 円
19	循環動態に係る薬剤投与関連	98,500 円
20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	78,400 円



### 【領域別パッケージ受講料（消費税込）】

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ・在宅・慢性期領域   | 301,600 円 |
| ・外科術後病棟管理領域 | 633,300 円 |
| ・術中麻酔管理領域   | 364,200 円 |
| ・救急領域       | 305,900 円 |
| ・外科系基本領域    | 423,400 円 |
| ・集中治療領域     | 415,400 円 |
- 一旦納めた受講料は原則として返還しません。
  - 研修のための宿泊及び交通費等は実費負担となります。

### 13. その他

願書受付後に、面談を行います。担当者から日程調整のご連絡をいたしますので  
出願提出書類 5) 緊急連絡先届（別記様式 5）には、日中ご連絡の取れる電話番号を  
記載願います。

#### ● 個人情報の取り扱いについて

筑波大学附属病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

## 交通案内

- ・車ご利用の方



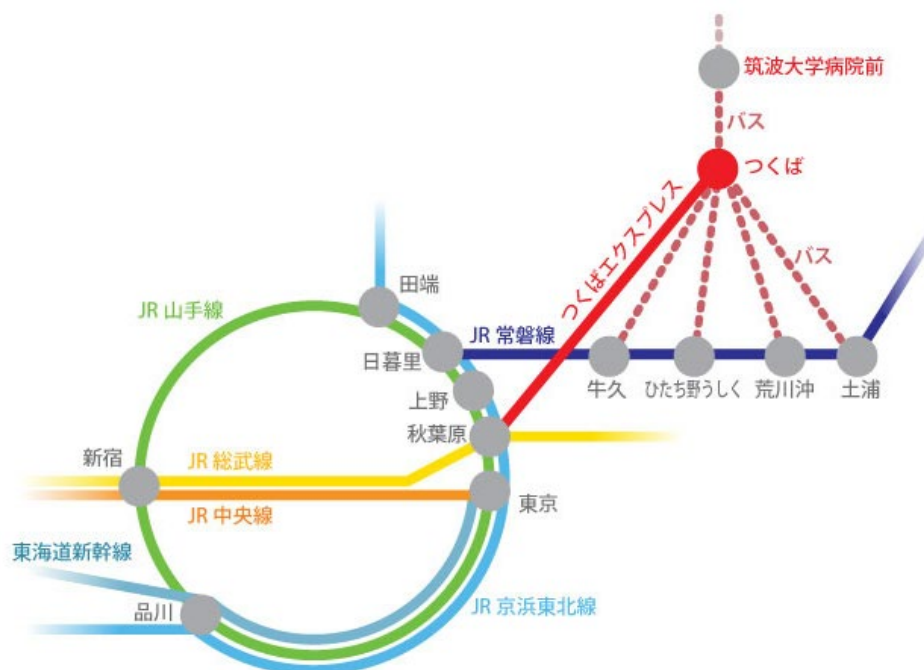
常磐自動車道「桜土浦 IC」から当院へ（約 20 分）

首都圏中央連絡自動車道（圏央道） 「つくば牛久 IC」から当院へ（約 25 分）

### \* 駐車場のご案内

駐車場の駐車スペースには限りがございますので、恐れ入りますが、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

・鉄道ご利用の方



つくばセンターから当院へ

つくばセンターバスターミナル 6 番のりばからバスで約 5 分

行き先：「筑波大学循環（右回り）」または「筑波大学中央」

降車バス停：「筑波大学病院入口」

又は

行き先：「筑波大学病院」

降車バス停：「筑波大学病院（終点）」

つくばエクスプレス（TX）ご利用の場合

TX（秋葉原駅⇄つくば駅）各駅時刻表（<http://www.mir.co.jp/timetable/>）参照

つくば駅（終点）A3 出口から地上へ、つくばセンターから当院へを参照願います。

・JR 常磐線ご利用の場合

土浦駅 西口 2 番のりばからバスで約 30 分

荒川沖駅 西口 4 番のりばからバスで約 35 分

ひたち野うしく駅 東口 1 番のりばからバスで約 35～45 分

・高速バスご利用の方

東京駅八重洲南口 から

高速バス 2 番のりばから JR バスまたは関東鉄道バス「つくば号」で約 70 分

行き先：「筑波大学」（つくば号）

降車バス停：「筑波大学病院入口」

※「つくばセンター」止まりに乘車した場合は終点で下車し、前ページの「つくばセンターから当院へ」を参照願います。

令和 6 年度 4 月募集受講生の今後の日程（目安）

令和 6 年 4 月 5 日	入講式・オリエンテーション
令和 6 年 4 月上旬	共通科目受講開始
令和 6 年 9 月上旬	共通科目修了判定
令和 6 年 9 月下旬	区分別科目受講開始
令和 7 年 3 月下旬	区分別科目修了判定・修了式
令和 7 年 9 月下旬	外科術後病棟管理領域修了判定・修了式

● 筑波大学附属病院 総合臨床教育センター

看護師特定行為研修担当

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2 丁目 1 番地 1

TEL : 029 (853) 3610

e-mail : tokutei298-office@umin.ac.jp

[http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/kango\\_tokutei/](http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/kango_tokutei/)